

新たな公共交通サービスの導入について

公共交通ネットワークの充実に向けた取組として進めている新たな公共交通サービスの導入に関して、令和6年度実証運行の利用実績等を踏まえ、中間評価をまとめたので以下のとおり報告する。

1 経緯

- 令和4年 4月 事業者(関東バス株式会社)決定
- 7月 中野区交通政策推進協議会(以下「協議会」という。)において関係者協議
- 10月 実証運行開始
- 令和5年 1月 協議会において関係者協議(一時中断について)
- 3月 実証運行の一時中断
- 6月 協議会において関係者協議(実証運行再開について)
- 9月 実証運行再開
- 令和6年 2月 協議会において関係者協議(令和6年度の運行継続について)
- 10月 協議会において関係者協議(令和6年度の中間評価について)

2 利用実績、収支状況、中間評価等(別紙1参照)

中間評価結果より令和6年9月までの収支率は目標値を超えているため、令和7年9月まで実証運行を継続する。

3 令和7年10月以降について

実証運行の期間について最長で令和7年9月までと想定していたが、今後は以下の点を踏まえ令和7年10月以降の運行について検討を進める。

- (1) 地域の積極的な利用による利用者数の順調な増加、地域の移動手段としての定着、今後の利用状況
- (2) 地域、運行事業者、区の各々の役割等
- (3) 本事業が提供する区民サービスと、他の施策を講じた場合との比較結果(クロスセクター効果検証:比較結果は別紙2のとおり)

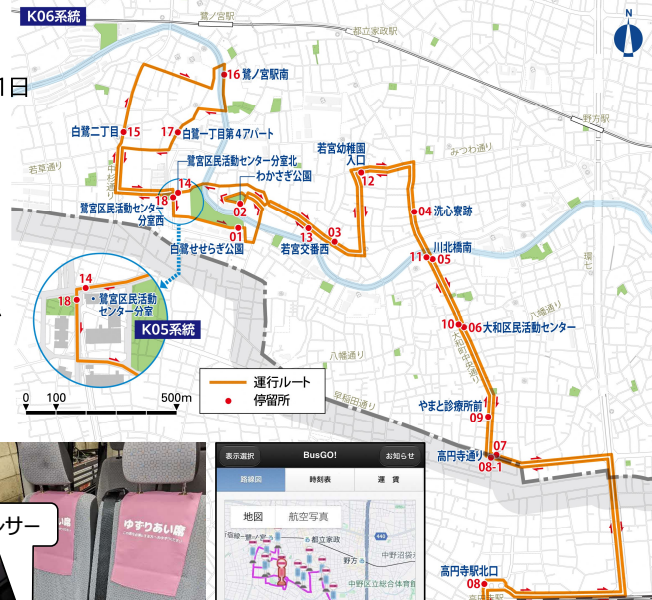
4 今後のスケジュール

令和7年	1月頃	中野区交通政策推進協議会において関係者協議
	3月31日	令和6年度実証運行期間最終日
	4月1日	令和7年度実証運行開始予定
	6月頃	令和6年度実証運行の評価等

1 運行概要

①運行計画

運行期間 令和5年9月19日～令和7年3月31日
 始 発 8:45(01白鷺せせらぎ公園発)
 終 発 17:55(01白鷺せせらぎ公園発)
 本 数 全日11便 K05系統:5便
 K06系統:6便
 車 両 ワゴンタイプ、乗客定員10人
 運 賃 大人200円、小児100円
 高齢者割引証(70歳以上)の提示で
 100円引き



②乗り残し解消に向けた取り組み

車内に座面センサーを導入し、Web地図上で走行位置と混雑状況を提供



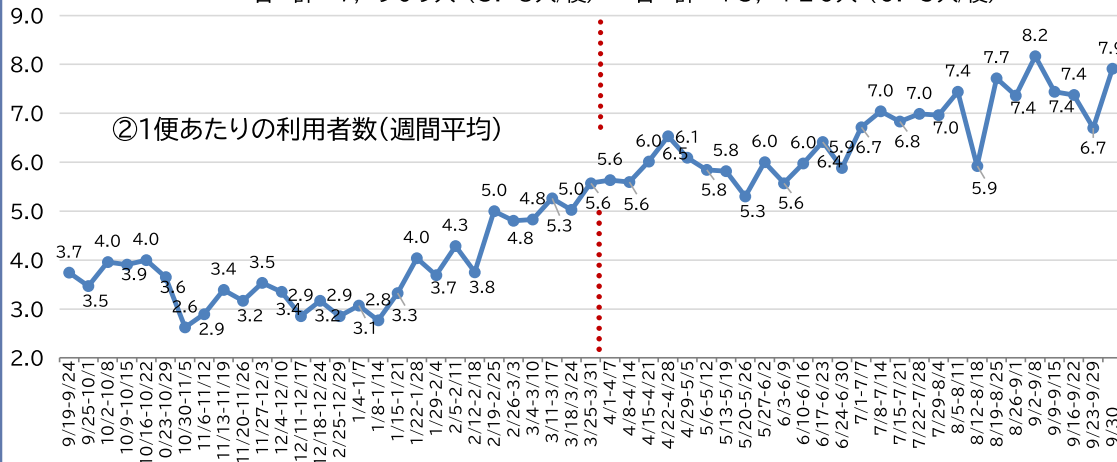
- ▶乗り残しの解消と利用者数の増加
- ▶データ取得により、乗降人数の常時把握と検証

2 利用実績

①利用者数

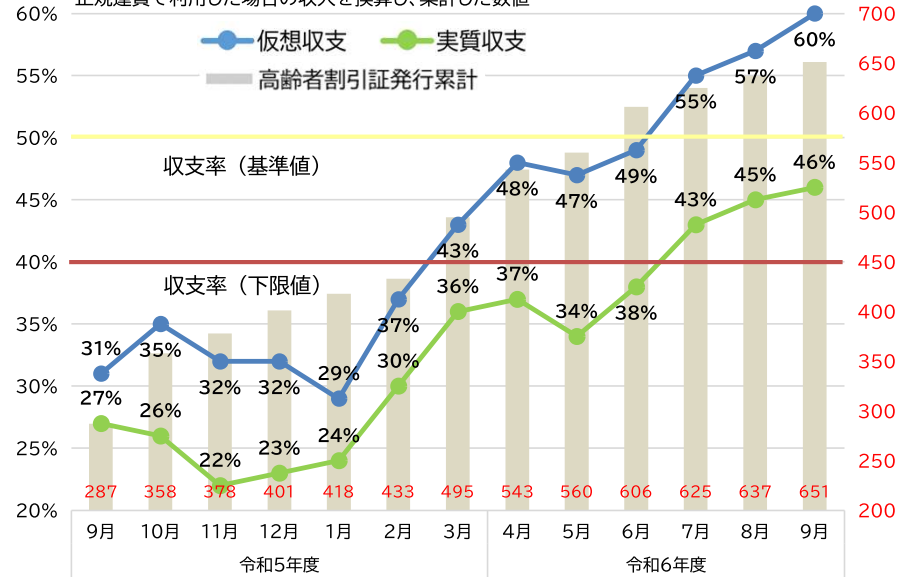
	平日	土休日	合計
令和5年度	5,327人 (3.8人/便)	2,582人 (3.8人/便)	7,909人 (3.8人/便)
令和6年度 (9月30日まで)	9,017人 (6.6人/便)	4,109人 (6.3人/便)	13,126人 (6.5人/便)

②1便あたりの利用者数(週間平均)

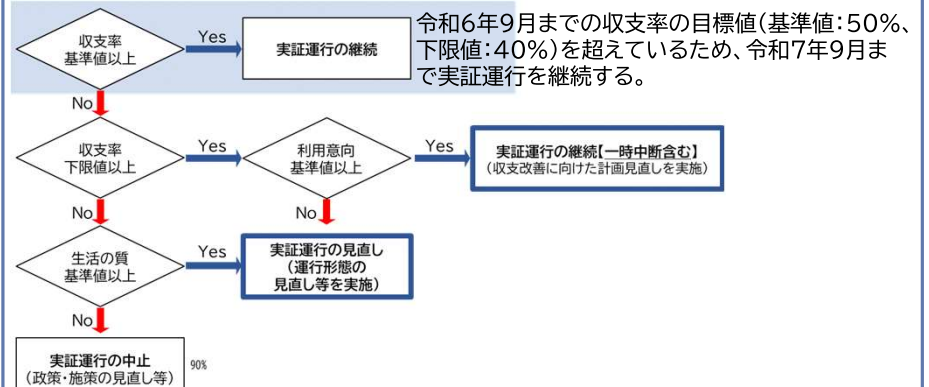


3 収支状況

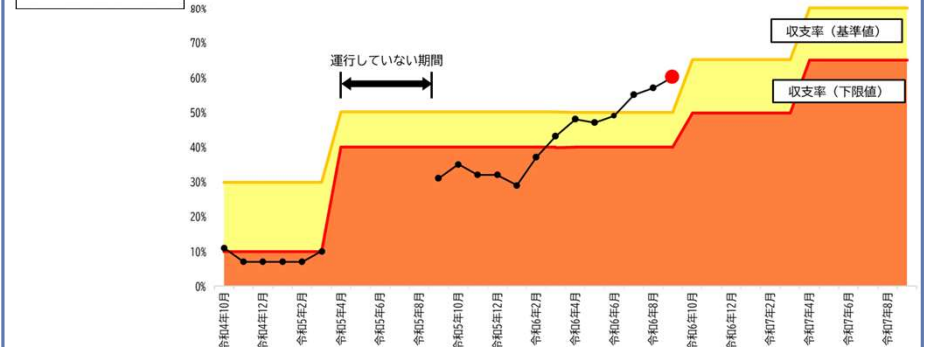
仮想収支…高齢者割引証(区が政策的に実施しているもの)利用者が正規運賃で利用した場合の収入を換算し、集計した数値



4 中間評価(収支率の検証)



令和6年9月までの収支率の目標値(基準値:50%、下限値:40%)を超えているため、令和7年9月まで実証運行を継続する。



参考クロスセクター効果検証

1 クロスセクター効果とは

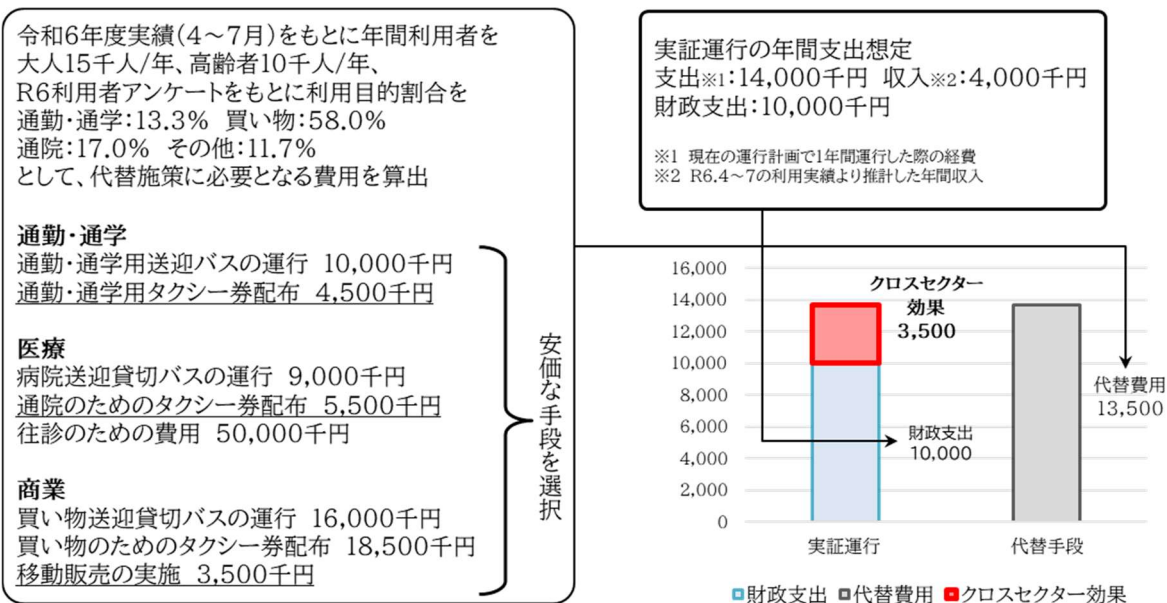
地域公共交通を代替するのに追加的に必要となる多様な行政部門の分野別代替費用と、運行に対して行政が負担している財政支出を比較することにより把握できる地域公共交通の多面的な効果

⇒中野区実証運行が運行していない場合に必要な、多様な行政部門の施策の費用を試算

【出典】

地域公共交通の有する多面的な効果（クロスセクター効果）算出ガイドライン標準版
 著者：クロスセクター効果研究会
 発行者：一般財団法人地域公共交通総合研究所

2 実証運行経費との比較結果



実証運行を実施しない場合、試算上、財政支出は約3,500千円増加する